

ディレクティングマップ



国旗デザイン研究所

お笑いコンビ「火災報知器」の小林知之さんなどが、世界の国々の国旗の秘密を教えました。自分だったらどんな色やデザインにするかを考えて、理想のオリジナル国旗を作りました。

昭和女子大学初等教育学科



手作りおもちゃのエネルギー

身の回りにあるものを使って「ぶんぶんごま」や風車など、昔ながらのおもちゃを作りました。昭和女子大学の学生と一緒に遊びながら、おもちゃが動く仕組みを考えました。

パズルステージ



パズルに挑戦!

「ことばパズル」や「すうじパズル」など、いろいろな種類のオリジナルパズルを解いて楽しみました。自分でパズルを作ることに挑戦しました。

オルガニート愛好会



オルゴールの曲を作ろう

紙にたくさんの穴があいた「曲カード」を入れ、ハンドルを手で回すと音楽が流れる「オルガニート」。「曲カード」に絵や文字を書いて穴をあけオリジナルの曲を作って、ハンドルを回して演奏しました。

企業が団体が
出前授業

毎日新聞社&毎日小学生新聞

まな 学びのフェス 2026 春

クイズラリーのヒントを探して毎小を開く子どもたち



企業・団体の出前授業を集めた小学生向けのイベント「学びのフェス2026春」(毎日新聞社主催、昭和女子大学など協力)が3月26日、東京都世田谷区の昭和女子大学で開かれました。春休み中の親子約900人が訪れ、学校では体験できない多彩な学びを楽しみました。

【坂井友子、古関俊樹、斎藤広子】

東京都練馬区の小学4年の男の子(9)は歯科医や歯科衛生士の仕事を体験する授業が印象に残ったといいます。「(虫歯予防のために)歯の溝を埋める」シーラントに光を当てて固めるのが楽しかった」と話していました。

学びのフェスは今回で20回目です。23の企業・団体が参加し、24の授業が行われました。会場全体を利用したクイズラリーも開催され、毎小の連載「もちもち♥ぱんだ」の「ねこばん」も登場し、一日にぎわいました。ペットボトルに活性炭や砂を入れて自分で浄水装置を作って実験をする授業や、タブレットを使ってゲームをしながらお金について学ぶ授業、身近にいるけれど普段は目に見えない微生物を顕微鏡で観察する授業などが行われました。毎小の連載「学びや」や「Look, look! (ルックルック)」をもとにした授業もありました。

カミオジャパン



オリジナルちびぱんを作ろう

毎小の連載「もちもち♥ぱんだ」の「ちびぱん」を自由にデザインして、オリジナルの缶バッジを作りました。

英文毎日室



英語でできるかな?

毎小の連載「Look, look!」などをつかったワークシートに取り組みました。毎日新聞の元海外特派員記者が先生となり、英語の勉強のコツなどを話しました。



「わいぱん」と写真を撮る子どもたち

【番外編】令和のリアル中学受験×Hanason

中学受験に挑戦する?しない?

中学受験について取材をしている毎日新聞の記者たちが、自分の子どもを中学受験させた経験について話しました。主に保護者向けの講演会でした。

